



令和5年度「ぐんまふるさと納税」 寄附金活用結果のご報告

令和5年度は「ぐんまふるさと納税」に、4,151件 267,893,600円のご寄附をいただきました。あらためまして、厚くお礼申し上げます。

お寄せいただいた寄附金は、皆様にお選びいただいた寄附メニューに合わせて活用させていただきましたので、ご報告いたします。

今後も、群馬県を更に輝かせ、県政の最大のミッションである「県民の幸福度向上」を実現させるため、積極的な取組を進めてまいりますので、引き続き、群馬県に対して温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■令和5年度「ぐんまふるさと納税」申込状況一覧

(単位：件数=件、金額=円)

	寄附メニュー	寄附件	寄附金額
1	湯けむりフォーラム	127	10,114,000
2	ぐんまちゃんのイベント出動支援	179	6,633,000
3	官民共創スペース【NETSUGEN】 \ 応援メニュー /	9	352,000
4	グローバル始動人テイクオフ事業	17	449,000
5	子どもたちへの文化芸術体験事業	296	12,222,200
6	世界遺産等の保存活用	220	12,253,000
7	ぐんまのアスリート支援	35	1,088,000
8	ぐんま県境稜線トレイル活用促進	22	950,000
9	ぐんまマラソン開催支援事業	56	2,578,000
10	ぐんまのプロスポーツを応援	15	1,601,000
11	パラスポーツ振興	18	474,000
12	子育て支援一般	593	31,214,200
13	児童虐待防止対策	89	5,630,000
14	困難を抱える子ども・若者支援	194	13,246,000
15	子ども医療費無料化	120	5,302,000
16	ぐんまの動物愛護推進	146	35,444,400
17	障害者の芸術文化活動の支援	35	1,507,000
18	尾瀬保護対策一般	122	8,364,700
19	尾瀬の貴重な植生をシカから守る	32	2,114,000
20	ぐんま緑の県民基金	42	6,887,000
21	ぐんまの中山間農業応援	15	566,000
22	始動人 Jr. キャンプ	4	195,000

23	ヒルクライム開催支援事業	10	593,000
24	孺恋高校修学支援（スケート競技）	8	163,000
26	ぐんまウクライナ支援官民協働プロジェクト 【お礼の品送付の対象外です】	3	62,000
25	県政一般	1,449	101,776,100
27	【未来を創る事業】 群馬のデジタル人材育成プロジェクトへ	10	132,000
28	群馬県警察山岳遭難対策用ドローンプロジェクト	285	5,983,000
合計		4,151	267,893,600

※27 及び 28 は、ガバメントクラウドファンディング案件のため、本報告の対象外とします。

※寄附金は寄附者の意向に沿った事業の財源に充当しておりますが、寄附金額が事業費を超える場合などは、意向に近い別事業に充当させていただいております。

《参考》年度別寄附申込状況（直近3年間）

（単位：件数＝件、金額＝円）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	1,298	822	1,053
金額	30,245,843	20,527,011	72,140,800



湯けむりフォーラム

件数：127 件 金額：10,114,000 円

【事業内容】

湯けむりフォーラムは人々のあふれる熱量を発信する、群馬県の新たなプロジェクトです。

令和5年度は、最新の議論を行うトークセッションや感性を刺激するクリエイティブプログラムを通して、新たな価値を創り出し、政策の実行を決定するリアルカンファレンスイベント「湯けむりフォーラム2023」を群馬県草津町で開催しました。

また、年間を通して、地域の人々の熱気ある活動を丁寧に取材したレポートや、地域に根付く文化や伝統を見つめ直して記録するアーカイブ動画など、さまざまなコンテンツを作成・発信しました。

作成したコンテンツは湯けむりフォーラム公式ホームページからご覧いただけます。

URL (<https://yukemuriforum-gunma.jp/>)

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、湯けむりフォーラム2023の開催費用や、湯けむりフォーラムのコンテンツ制作費用に充てさせていただきました。令和5年度は、動画22本、テキスト22本、イベント20本を制作しています。

引き続き、熱量のある多様なコンテンツを制作するとともに、多くの方が始動するキッカケとなるプラットフォームづくりを進めます。

◎令和5年度に作成したコンテンツ例

- 「知事×楽天三木谷社長トークセッション」

「湯けむりフォーラム2023」での山本知事と楽天三木谷社長のトークセッション

- 「湯けむりアーカイブス 前橋空襲の記憶」

1945年8月5日の前橋空襲では、前橋市街地の80%が焦土となり一晩で500人以上の命が奪われました。戦争とは、平和とはなにか。幼いころに凄惨な空襲を体験し、奇跡的に命を救われた方々に、あの日の記憶について取材しました。



「湯けむりフォーラム2023」
知事ウェルカムスピーチ



「湯けむりアーカイブス 前橋空襲の記憶」



ぐんまちゃんのイベント出動支援

件数：179件 金額：6,633,000円

【事業内容】

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」とぐんまちゃんキャラバン隊が、県内外で開催されるイベントへの参加や、SNS発信等を通して、本県のPRを行っています。さらに、県内の子どもが幼児期から郷土に愛着を育むことを目的として、ぐんまちゃんが県内幼稚園等を訪問し、園児と一緒にダンスやクイズを行う活動を実施しています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、群馬のイメージアップ事業である「ぐんまちゃんキャラバン隊」の活動費に活用させていただきました。

2023年度は集客型の自主イベントとして、「ご当地キャラカーニバル」や「劇団ぐんまちゃんコンサート」、「ぐんまちゃんお誕生日会」等を実施したほか、県内外各地に出動を行い、たくさんの方々とふれあいました。



幼稚園等訪問事業



ご当地キャラカーニバル



官民共創スペース【NETSUGEN】 \ 応援メニュー /

件数：9件 金額：352,000円

【事業内容】

新たなビジネスや地域づくりにチャレンジする人が集まるイノベーション創出拠点として、北関東一帯を眺望する群馬県庁 32 階に設置した官民共創スペース「NETSUGEN」。デジタル技術を活用して、アイデアを形にしたい人と事業の発展をめざす企業家、それを支援する人や事業者が集まり交流する場です。アイデアを核に、解決すべき地域課題、人材、デジタル技術、知識などが集積・結合して、新たなイノベーションが次々と生み出され、社会の変革につながる好循環の形成をめざします。

【寄附金の活用結果】

NETSUGEN の利用は会員制を基本としており、令和5年度は月額法人契約 91 社、月額個人契約 85 名と前年度から大きく増加しました。コワーキング利用は 9,033 回、セミナーやイベント等も 361 回開催されるなど多くの会員にご利用いただき、様々な交流も生まれています。また、月額会員が無料で使えるアライアンス（提携）施設も 16 施設から 23 施設まで拡大し、利便性も向上しました。令和6年度は NETSUGEN の更なる発展を目指し、県庁 31 階に設置されている「GINGHAM」との連携を強化するとともに、会員同士が自発的に繋がり、新たな価値を生み出す「エコシステム」の構築を進めることで、官民共創の取り組みを更に推進してまいります。



官民共創スペース NETSUGEN



NETSUGEN セミナー



グローバル始動人テイクオフ事業

件数：17 件 金額：449,000 円

【事業内容】

群馬県では、世界に目を向け、自ら考え動き出す「グローバル始動人」の育成に取り組んでいます。県内の高校生や大学生等の若者を対象に、世界を意識する様々なコンテンツに触れ、世界を肌で感じる機会を提供しています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、県内の高校生や大学生等を対象として、世界で活躍する講師とのトークセッションや、グローバルな視点で情報発信を行うスキルを身に付ける「世界発信力向上講座」を実施しました。

また、世界に向けて自分の考えを発信するきっかけ作りとして、群馬県の魅力を英語で伝える「グローバル始動人プレゼンアワード 2023」を開催するとともに、本アワードでグランプリを受賞した高校生、大学生を群馬県の友好交流先である米国インディアナ州へ派遣しました。



グローバル始動人プレゼンアワード 2023



米国インディアナ州での学生交流の様子



子どもたちへの文化芸術体験事業

件数：296件 金額：12,222,200円

【事業内容】

群馬交響楽団は、定期演奏会や小中高生への移動音楽教室などの演奏会で県民の皆様が生音楽を提供することを通じて、音楽の素晴らしさを実感してもらうため、活動を行っています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、子どもたちを対象にした夏休みコンサートを開催しました。ディズニー映画「リトル・マーメイド」の「アンダー・ザ・シー」や「おどるポンポコリン」など、子どもになじみがある曲も演奏し、家族連れをはじめとする多数のお客様にご来場いただき、成功させることができました。



2023 群馬交響楽団夏休みコンサートのチラシ



コンサートの模様



世界遺産等の保存活用

件数：220件 金額：12,253,000円

【事業内容】

群馬県では、江戸時代中頃から養蚕・製糸・絹織物などの絹産業が盛んでした。現在でも群馬県内には、絹の歴史や絹文化を伝える貴重な遺産が存在しています。世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめ、ぐんま絹遺産や日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」を将来の世代に確実に引き継ぐため、保存管理や周辺環境の整備、普及啓発活動などを行っています。また、地域全体で遺産と絹文化を守り、それらを活用した地域づくりを推進するとともに、県民の皆様が地域の価値を再認識するための活動支援を行っています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は「群馬県世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金」に積み立て、世界遺産構成4資産の保存修理・整備工事をはじめ、ぐんま絹遺産及び日本遺産に係る修復事業や周辺環境の整備等に活用させていただきました。



富岡製糸場煙突（画像提供：富岡市）



桐生市重伝建地区公開活用施設
（まちなか交流館）（画像提供：桐生市）



ぐんまのアスリート支援

件数：35件 金額：1,088,000円

【事業内容】

令和3年度から「ぐんまプレキッズ」を行っています。本事業は、将来のトップアスリートの発掘・育成を目的としています。県内小学3年生・4年生から、運動能力の高い児童約250名を選考し、1年間継続してトレーニングを実施しています。トレーニングは、幼少期でしか獲得できないと言われる巧緻性や俊敏性等を高めるものであり、全てのスポーツに通じる内容です。本事業の参加者が、将来、オリンピックや国際大会等

で活躍することが期待されています。

【寄附金の活用結果】

寄附金を活用し、必要な用具を揃えられたことで、十分なトレーニングを実施することができました。子どもたちは、毎回の練習に一生懸命に取り組み、1年後の体力測定では、自身の記録を大きく更新しました。

山本知事も「ぐんまプレキッズ」を視察し、子どもたちに「是非、未来のアスリートを目指してほしい」とエールを送っています。

毎回、募集定員を大幅に上回る応募があり、現在では実施会場を増やし、県内4カ所で実施しています。



実際のトレーニングの様子



ぐんまプレキッズのポスター



ぐんま県境稜線トレイル活用促進

件数：22件 金額：950,000円

【事業内容】

ぐんま県境稜線トレイルは、群馬と新潟、長野の県境稜線100kmを主要ルートとしたトレイルで、稜線を繋ぐものとしては国内最長のロングトレイルです。

稜線上には日本百名山、二百名山に数えられる山々があり、ぐんま県境稜線トレイルと周辺の山々の登山道を組み合わせることで、初心者から上級者まで幅広い年齢・レベルの方が山歩きを楽しめます。また、周辺には多くの温泉や歴史遺産等の観光スポットもあり、魅力的な山岳観光を楽しむことができます。

群馬県では、こうした豊かな自然や山嶺にある既存の観光資源を活用して、更なる地域の活性化に取り組んでいます。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、令和元年度に新設したムジナ平避難小屋の修繕や、登山者が遭難等により救助要請する際に正しく自分の位置を伝えるための

「位置ナンバープレート」の作成、新規開通区間である「三坂峠～白砂山」までの登山道刈払事業に活用させていただき、山を楽しむことができるよう環境整備を進めました。



ぐんま県境稜線トレイル



ぐんまマラソン開催支援事業

件数：56件 金額：2,578,000円

【事業内容】

「ぐんまマラソン」は毎年11月3日の文化の日に、群馬県前橋市敷島町の正田醤油スタジアム群馬をメイン会場として、前橋・高崎市内のコースを走ります。

種目は「フルマラソン」「10kmマラソン」「リバーサイドジョギング」の3つで、総数15,000名の選手が参加する県内最大規模のマラソン大会です。

本大会では、「走る・支える・応援する」をテーマに、誰もが楽しみ、「自然・食・歴史文化・温泉」といった群馬の魅力を味わえる大会準備に活用します。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、参加する選手に配布する大会プログラムやTシャツなどの「参加賞」のほか、給水所や給食所で提供する水等の資材、円滑な競技運営のために必要不可欠な警備員の配置や交通規制等のコース整備、また選手を温かく迎えるボランティアに対するジャンパー等の支給に活用させていただきました。

なお、寄附いただいた方々へ「フルマラソン出走権」を返礼品として提供し、「ぐんまマラソン」へ参加していただくことで、群馬の魅力を楽しんでいただきました。



手を振るランナーたち



ぐんまのプロスポーツを応援

件数：15件 金額：1,601,000円

【事業内容】

群馬県では、ザスパ群馬、群馬ダイヤモンドペガサス、群馬クレインサンダーズ、群馬グリーンウイングスの4つのプロスポーツチームが活動をしています。これらのプロスポーツチーム及び他スポーツチームと連携し、スポーツによる地域活性化を目的とした推進事業を実施することで、県内のスポーツ振興や県の魅力発信につなげていきます。

具体的な内容としては、子どもを対象とした「スポーツ体験教室」の実施や、「パブリックビューイング」の実施等による広報・普及活動等に活用させていただきます。

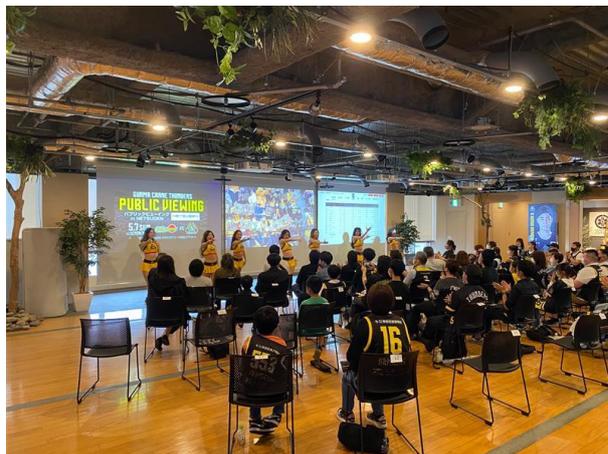
【寄附金の活用結果】

プロスポーツチームが県内の小・中学校に選手を派遣し、講師として指導を行う「プロスポーツ感動体験プログラム」を実施しました。本事業はザスパ群馬、群馬クレインサンダーズ、群馬ダイヤモンドペガサス、群馬グリーンウイングス、ビックカメラ高崎BEEQUEEN、太陽誘電ソルフィーユにより実施され、子どもたちがスポーツの楽しさや喜びを体感する機会となりました。

また、ザスパ群馬と群馬クレインサンダーズの「パブリックビューイング」を群馬県庁で実施しました。参加者がスポーツを観戦する感動や喜びを共有するとともに、群馬県を拠点に活動するチームの魅力を発信することができました。



ザスパ群馬 プロスポーツ感動体験プログラムの様子



群馬クレインサンダーズ
パブリックビューイングの様子



パラスポーツ振興

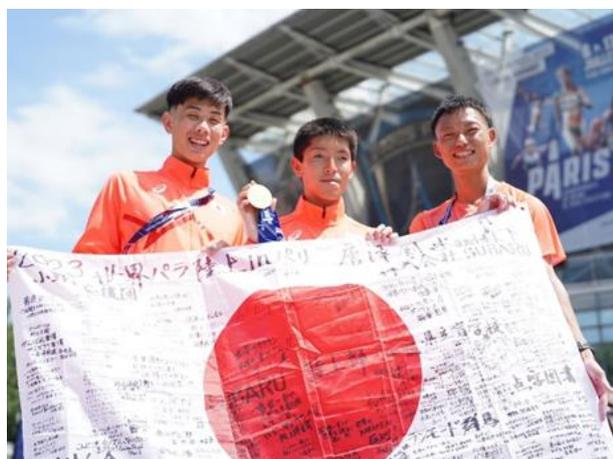
件数：18件 金額：474,000円

【事業内容】

群馬県は、世界で戦えるパラアスリートを輩出するためのサポート窓口として、令和5年度に「ぐんまパラアスリート支援ワンストップセンター」を設置しました。選手や関係者からの各種相談を受け付けるとともに、「ぐんまパラアスリート始動プロジェクト」では、22名のパラアスリートを「ぐんま強化指定パラアスリート」に選定し、競技活動費の補助を実施しました。この中には、令和5年度に世界選手権や国際大会で優勝・上位入賞した選手や、パリ・パラリンピック等の日本代表に選出された選手も多数含まれています。選手の活躍情報は「ぐんまパラアスリート支援ワンストップセンター」ホームページに随時掲載していますので、是非ご覧ください。

【寄附金の活用結果】

皆様からいただいた寄附金は、「ぐんまパラアスリート始動プロジェクト」補助金として、パラアスリートへの活動費支援に活用させていただきました。前述のとおり、多くの選手が世界の舞台へ羽ばたき、活躍することができました。今後も、パラアスリートの活躍を後押しするとともに、障害の有無に関わらず、多くの方がパラスポーツをもっと身近に感じられるための取組を進めてまいります。



世界パラ陸上競技選手権（5000m・T11クラス）で優勝した唐澤剣也選手（中央）とガイドランナーの2人

【写真提供：（株）SUBARU】



世界パラ空手道選手権（視覚障害K11クラス）で優勝し、山本知事からスポーツ栄誉賞の顕彰状を受け取る今井俊浩選手（左）



子育て支援一般

件数：593件 金額：31,214,200円

【事業内容】

群馬県では、県内で家族を増やし、子育てをする多子世帯の経済的負担を軽減するために、認可保育所・認定こども園等を利用する第3子以降の3歳未満児の保育料を無料化している市町村に対し、その財源を補助する事業を行っています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、3人以上の子どもを産み育てる家庭に対する支援制度の財源の一部として活用させていただきました。



3子のイメージイラスト



児童虐待防止対策

件数：89件 金額：5,630,000円

【事業内容】

児童相談所や市町村に寄せられる児童虐待の件数は年々増え続け、児童虐待は社会全体で解決すべき喫緊の課題となっています。

群馬県では、11月の児童虐待防止推進月間を中心に、児童虐待防止への意識啓発を図るため『オレンジリボンキャンペーン』を実施するなど、児童虐待防止対策に取り組んでいます。

また、令和3年4月に施行された「群馬県虐待から子どもの生命と権利を県民全体で守る条例」に基づき、虐待から子どもの生命を守り、子どもの権利が尊重される社会を実現するため、児童虐待の根絶に取り組んでいます。

【寄附金の活用結果】

皆さまからお寄せいただいた寄附金は、『オレンジリボンキャンペーン』での広報啓発活動や児童虐待等に関する相談活動に活用させていただきました。

STOP! 児童虐待

オレンジリボンキャンペーン

出産や子育てに関する悩みや質問がある方は、
市町村・児童相談所へお気軽にご相談ください。

電話相談窓口（24時間365日対応）

児童相談所全国共通ダイヤル

189（いちばやく）

子どもホットライン24

0120-783-884

携帯電話からは027-263-1100

LINE相談窓口

ぐんま子ども・子育て相談

相談対応時間

月～金曜日

9時～17時

（祝日を除く）



オレンジリボンキャンペーン



困難を抱える子ども・若者支援

件数：194件 金額：13,246,000円

【事業内容】

子ども・若者が抱える困難な状況は、経済的な困窮、いじめ、不登校、引きこもり等複雑で多岐にわたるものです。これら様々な理由により高校を中退した子どもや、中学を卒業したものの進路が決まっていない子どもが、不安を解消し、再学習や就労など社会的自立に向けた新たな一歩を踏み出せるよう、支援を行っています。また、虐待を受けた子どもは、心に大きな傷を負ってしまい、当たり前の日常を過ごす事ができなくなってしまいます。児童相談所は、虐待防止に向けた家庭への支援や、子どものケアをしています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、高校中退者や進路未定の中学校卒業生一人ひとりの状況に応じた寄り添い型の支援や、子どものあらゆる相談を受ける児童相談所の相談体制を強化する財源の一部に活用させていただきました。



「学校を離れてしまった子ども・保護者向けパンフレット」



子ども医療費無料化

件数：120件 金額：5,302,000円

【事業内容】

少子化が進む中、子どもを育てやすい環境づくりが求められています。

群馬県では、子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、県内どこに住んでいても、子どもたちが安心して必要な医療が受けられるよう、市町村と協力し、中学校卒業まで（令和5年10月1日からは高校生世代まで）の子どもの医療費の助成を行っています。

入院・通院ともに高校生世代までを対象とする本県の助成制度は、所得制限や受診時における窓口での自己負担のない手厚い制度です。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、子ども医療費助成事業の財源の一部として活用させていただきました。



小児科を受診する子ども



ぐんまの動物愛護推進

件数：146件 金額：35,444,400円

【事業内容】

群馬県では、人と動物が共生できる豊かな社会の実現に向けた動物愛護の推進に関する様々な取組を実施しています。

その1つとして、飼い主のいない猫対策支援事業では、殺処分減少を目的に地域での飼い主のいない猫への繁殖防止と環境保全活動（いわゆる「地域猫活動」）の支援を県獣医師会や動物愛護団体と協力して行っています。

また、犬猫の譲渡事業にも力を入れており、動物愛護団体と協力・連携してより一層の譲渡につながるよう取り組んでいます。県動物愛護センターで譲渡を待つ間、病気・

ケガの治療や疾病予防対策などの健康管理を行うなど、譲渡希望者が安心してセンターから犬や猫の譲渡を受けられる環境づくりに努めています。

【寄附金の活用結果】

飼い主のいない猫対策支援事業では、皆様からお寄せいただいた寄附金を活用して、令和5年度は新たに2地域が登録地域として活動を開始することができ、活動地域で管理する猫61匹に不妊去勢手術を実施することができました。

また、犬猫の譲渡事業では動物愛護センターでの病気・ケガの治療や健康管理に必要なワクチン、寄生虫駆除薬等の動物用医薬品のほか、離乳前の子猫を育成するためのペット用品の購入、休日の犬猫への給餌給水のお世話等に活用させていただき、県動物愛護センターが保護収容した犬猫360匹を、新しい飼い主へ譲渡することができました。



譲渡希望者とお見合いで喜んでいる犬



哺乳瓶でミルクを飲んでいる子猫



障害者の芸術文化活動の支援

件数：35件 金額：1,507,000円

【事業内容】

近年、芸術文化活動を通じて障害のある人の自立と社会参加を促す取組が注目を集めています。群馬県では、障害のある人の芸術文化活動の拠点となる「群馬県障害者芸術文化活動支援センター『こ・ふぁん』」を運営し、様々な相談への対応のほか、福祉事業所職員等を対象とした研修会、障害のある人のアート展の開催などに取り組みます。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、アート展の開催など障害のある人が芸術文化に触れる機会を生み出す事業に活用させていただきました。



県庁 32 階「障害者アート展」



自由な音楽を楽しむ活動「ドラムサークル」



尾瀬保護対策一般

件数：122 件 金額：8,364,700 円

【事業内容】

美しい景観と貴重な生態系が保たれている尾瀬国立公園には、毎年多くの登山者が訪れます。尾瀬の自然を守り、登山者の安全を確保するために、群馬県は関係者と連携して登山道の整備を行っています。一方で、尾瀬における工事には、ヘリコプターでの資材運搬や多雪による破損の補修等、山岳地ならではの特殊事情により多くの経費がかかります。

尾瀬国立公園の西端に位置する至仏山は、高山植物の宝庫であり、日本百名山にも数えられ、多くの登山者に親しまれています。しかし、長年にわたる登山の影響により、登山道周辺の植生荒廃や裸地化などの問題が生じています。至仏山の保全は、尾瀬を守り続ける上で重要な課題の一つで、植生回復に取り組んでいます。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、至仏山の荒廃防止対策として、登山道の補修や周辺の植生回復作業を行うことができました。また、県管理木道の補修などを行い、尾瀬を訪れた登山者の方のために、安全な木道を整備することができました。



植生回復の経過観察



木道の更新



尾瀬の貴重な植生をシカから守る

件数：32件 金額：2,114,000円

【事業内容】

尾瀬国立公園では、ニホンジカの増加・生息域拡大により、植生の食害や湿原の踏み荒らし等が進行し、生態系への影響が深刻化しています。

群馬県は関係者と協力して尾瀬国立公園の希少な植生、生態系を守るため、大規模な保護柵を設置し、ニホンジカの被害から保護しています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、ニホンジカ対策として、希少な植生を守る保護柵を設置することができました。



植生保護柵設置の様子



登山者が柵を出入りするためのゲート



ぐんま緑の県民基金

件数：42件 金額：6,887,000円

【事業内容】

県土面積の3分の2を占める群馬県の森林は、豊かな水を育み、災害を防止するなど私たちの暮らしを支え、多くの恵みをもたらす県民共有の財産です。

しかし、適正に管理が行われずに放置された森林は、これらの機能を十分に発揮できず、土砂災害発生などの危険性が高まります。

群馬県では、この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、目標である「豊かな水を育み、災害に強い森林づくり」と「里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造」の実現に向けて、ぐんま緑の県民基金事業による様々な施策に取り組んでいます。

【寄附金の活用結果】

ぐんま緑の県民基金事業では、皆様からお寄せいただいた寄附金を活用し、災害に強い森林づくりのため、経営が成り立たない奥山の森林等の整備を実施しました。

また、ボランティア団体等による里山・平地林の整備により、野生獣類の出没抑制や道路沿いの森林整備による通行の安全確保など、安全・安心な生活環境の改善に向けた取組や、児童生徒などを対象とした森林環境教育の推進、貴重な動植物の生息域を保護する活動も実施しました。



整備された森林の様子



森林環境教育の様子



ぐんまの中山間農業応援事業

件数：15件 金額：566,000円

【事業内容】

群馬県の中山間地域には、風光明媚な景観と全国的にも有名な温泉地などがあり、県内外から多くの観光客が訪れています。果物の栽培も盛んで、新鮮なリンゴなどを直接購入できる観光果樹園や直売所がたくさんあり、観光資源のひとつとなっています。しかし、近年では、地球温暖化による気候変動が激しく、農業者からは厳しい生産環境下でも安定して高品質な果実が生産できる品種の開発や栽培方法の改良が求められています。群馬県農業技術センターのひとつである中山間地園芸研究センターでは、地域農業の振興を図るべく、リンゴやブルーベリーの県オリジナル品種育成や栽培試験を行っており、これまでリンゴ「陽光」、「ぐんま名月」など8品種、ブルーベリー「おおつぶ星」など3品種を世に送り出してきました。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、群馬県のリンゴオリジナル品種「おぜの紅」や「紅鶴」の安定生産技術開発等に活用しました。両品種ともに果皮が鮮やかに着色し、食味も良好ですが、寄附金により、安定生産を可能にする栽培方法について検討して成果を得ることができました。得られた成果については、講習会や各種研修会な

どを通じて生産現場へ情報提供し、普及を図っていきます。



群馬県オリジナル品種「紅鶴」



群馬県オリジナル品種「おぜの紅」



始動人 Jr. キャンプ

件数：4件 金額：195,000円

【事業内容】

将来への県経済発展に向けて、新たな時代を切り開く「始動人(※)」を育成します。

・取組① 始動人 Jr. キャンプ

中高生を対象にした、全7日間の社会課題解決型学習プログラムを開催。自由な発想で課題に立ち向かい、デジタルを活用して、新しい価値を創出できる人材を育成。

・取組② 始動人 Jr. インキュベーション

社会課題解決のアイデアをもつ中高生クリエイターとその取組を支援したい県内企業をマッチング。マッチング後は県内企業がアイデアの実装に向けて支援。

※始動人：自分の頭で未来を考え、新しい領域で動き出し、生き抜く力を持った人

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、始動人 Jr.の育成を目指す「始動人 Jr. キャンプ」及び「始動人 Jr. インキュベーション」に活用しました。

始動人 Jr. キャンプでは、参加した中高生を6チームに分け、社会課題に対するデジタルを活用した解決策の考案及び実装に取り組みました。始動人 Jr. インキュベーションでは、高校生のチーム4組が、取組を支援したい企業とマッチングし、社会課題解決に向けたアイデアの実現に取り組みました。また、それぞれの取組において、成果発表会を実施しました。



始動人 Jr. キャンプの様子



始動人 Jr. インキュベーションの様子



ヒルクライム開催支援事業

件数：10件 金額：593,000円

【事業内容】

群馬県内で開催される「榛名山ヒルクライム」及び「まえばし赤城山ヒルクライム」は県内外から多くのサイクリストが参加する県内最大級の自転車イベントです。

一般道を利用したイベントであることから、適切な道路環境整備を行うことが重要になっています。

【寄附金の活用結果】

令和5年度は、「榛名山ヒルクライム」「まえばし赤城山ヒルクライム」の両イベントとも開催されました。

開催にあたり、両イベントのコースとして使用されている道路の除草費用に活用させていただきました。



「榛名山ヒルクライム」開催状況



道路の除草状況（前橋赤城線）



孀恋高校修学支援(スケート競技)

件数：8件 金額：163,000円

【事業内容】

孀恋高校は、群馬県の北西部に位置する、1学年64人定員の小さな学校ですが、2人のメダリストを含む6人のオリンピックスケート選手を輩出するなど、スピードスケートの強豪校として全国で広く知られています。

群馬から世界に羽ばたくアスリートを育成するため、県内外から生徒を受け入れています。

【寄附金の活用結果】

お寄せいただいた寄附金は、下宿しながら充実した高校生活を送っている、将来有望な選手への支援として、大切に活用させていただきました。



ショートトラックトレーニング



自転車トレーニング



ぐんまウクライナ支援官民協働プロジェクト 【お礼の品送付の対象外です】

件数：3件 金額：62,000円

【事業内容】

ウクライナでは、民間人を含む多くの犠牲者が出ており、さらに国外等への避難を余儀なくされるなど、多くの方が深刻な危機に直面されています。

群馬県では、ウクライナから県内へ避難されてきた方々に対する生活支援等を行い、避難民の方々が県内で安心して暮らせるようサポートしています。

【寄附金の活用結果】

皆様からお寄せいただいた寄附金は、ウクライナ避難民の方々に対する生活支援等を

行うための財源の一部として活用させていただきました。



ウクライナ国旗



県政一般

件数：1,449 件 金額：101,776,100 円

【事業内容・寄附金の活用結果】

群馬県を更に輝かせ、県政の最大のミッションである「県民の幸福度向上」を実現させるため、群馬県が推進する施策・事業に広く活用させていただきました。



ビジョンが目指す

2040年の群馬県の姿

ビジョンは、2040年までの群馬県を取り巻くさまざまな環境の変化を見通した上で、県民の幸福度の向上に向けた「目指す姿」と「実現へのロードマップ」をバックキャスト思考で描いたものです。

● 目指す姿

年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、すべての県民が、誰一人取り残されることなく、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる自立分散型の社会

● 計画期間

2021年～2040年(20年間) ※計画期間中も、常に時代の大きな変化を読み取り柔軟に対応する。

